

全私保連保育運動
新しい時代は
子どもから

保護者の皆様へ 私たちが伝えたい7つのメッセージ



今回のメッセージは……

その1 子どもの思いを受け止めましょう

0歳からのお子様をお預かりする保育施設では、言葉が未熟な年齢でもあるために、子ども一人ひとりの状況や表情を把握しながら、「ニーズや思いへの対応を行っています。」

特に近年では、赤ちゃんが「泣く」という仕草にも何かを伝える意図があつて、自ら思いを伝えようとする力を既に持っていると言われていいます。また、片言の言葉を発する時期では、自分の思いを伝えようとしてもうまく伝えられなくて、「へずったり」、「うやうや」を連発することがあります。

さらに、お友だちとの関わりが増えることで、意見のぶつかり合いに出会ったり、自分の思いを調整することを求められる場面も体験します。そのため、自分の思いを理解してもらえないことが大きなストレスになるのではないかと考えられます。

これらのことから、保育者は、ていねいに子どもたち一人ひとりの話を聞き、伝えたいこ



日常の保育の中でも、子ども同士でお互いの思いを伝え合う姿を見守っています

とを整理することや、共感して思いに寄り添う言葉かけを日々行っています。

例えば……、

乳児のオムツ交換の際には、「気持ち悪かったね！」「交換してスッキリしたね！」など。

幼児クラスでの子ども同士のトラブルなどでは、「○○ちゃんの思いはこうなんだね！」「○○ちゃんはこれがイヤだったんだね」など、双方の思いを認めること。

といった言葉かけを大切にしています。

一方、ご家庭では「親とわが子」という関係性から、やってあげることや失敗しないようにとの思いが先行してしまったり、保護者自身の経験や成功体験に基づいた声かけをついつい押しつけてしまいがちではないでしょうか？

子どもの声を「率直に聞く」ということは難しいと思われてしまうかもしれません。でも子どもは、自分の近くにいる存在である大人に自分のことをわかってほしいとの思いがあります。ぜひ、ご家庭でも、少し意識してお子様の声に耳を傾けてみてください。

子どもにとって、自分の思いを大人に聞いてもらえること、また、共感してもらえることだけでも、相手との信頼関係を持つことにつながります。大人も童心にかえり、目線を合わせて考えてみることで、子どもの素直でやさしい思いに気づいたり、日々成長し「考える」力をつけている姿を発見できると思います。

新しい時代は子どもから

～子どもの今が未来を創る～



公社)全国私立保育連盟は、未来を生きていく子どもたちの為に
社会へ向けて、7つのメッセージを送ります。

あおむし通信

<https://www.zenshihoren.or.jp/>



新しい時代は子どもから

<https://undou.zenshihoren.or.jp/>



全私保連
公式 YouTube チャンネル
<https://www.youtube.com/channel/UCy3LvUSg5wmwIXdA0RkkJXA>



公益社団法人
全国私立保育連盟

*この2ページをコピーして、保護者の皆様へ配布をお願いします。